

東京都臨床工学技士会

呼吸専門部会主催

東京呼吸療法セミナー 活動報告

呼吸専門部会では「呼吸療法セミナー」を2007年から毎年開催しております。本セミナーは呼吸療法認定士受講・更新講習会と認定されており25点加算されます。さらに呼吸治療専門臨床工学技士の8単位が取得できます。

これまで12回開催してまいりましたが、今までのテーマは以下の通りです。

第1回：明日から実践できる呼吸管理 ～トータルケアも目指して～

第2回：明日から実践できる呼吸管理 ～日頃の疑問を解消するために～

第3回：明日から実践できる呼吸管理 ～トータルケアも目指して～

第4回：今、呼吸管理で一番知りたいこと

第5回：基礎から学ぼう呼吸療法 ～チーム医療における呼吸療法の実際～

第6回：わかっているつもりが・・・

第7回：呼吸療法のニューウェーブ

第8回：呼吸療法の「つぼ」

第9回：なるほど～ザ～呼吸療法

第10回：第10回ですよ。全員集合！～呼吸療法、今までの10年・これからの10年～

第11回：呼吸療法における Next innovation

第12回：今、求めるもの

講師は医師・看護師・理学療法士・臨床工学技士の先生方に講演していただいております。内容としてはテーマに沿った最新情報や各施設での工夫・アイデアなどを盛り込んだ講義であり、次の日から実践してみたいくなるお話の数々です。セミナー例として以下に第8回のセミナー報告を記しました。テーマは呼吸療法の「つぼ」としましたので、講師の先生方は各テーマにおけるつぼについてお話していただきました。

#### 1. 血液ガス分析のつぼ

東邦大学医療センター大森病院 麻酔科 講師 佐藤暢一 先生

#### 2. フィジカルアセスメントのつぼ

湘南厚木病院 看護部 看護師長 米国呼吸療法士 (RRT) 南雲秀子 先生

#### 3. ランチョンセミナー「酸素療法 基本からみなおしてみませんか？」

(共催：アトムメディカル株式会社)

順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院 臨床工学室 山本信章 先生

#### 4. トラブルシューティングのつぼ

済生会横浜市東部病院 MEセンター 臨床工学技士 山田紀昭 先生

#### 5. COPD への呼吸リハビリテーションのつぼ

Respiratory Advisement Ys 代表 順天堂大学大学院医学研究科 佐野裕子 先生

呼吸療法を行ううえでの考え方・アプローチ方法・管理方法など職種によって異なるかと思いますが、各専門分野で行われている呼吸療法のつぼをわかりやすくご教授いただき、各分野での考え方を共有することができました。

麻酔科の佐藤暢一先生からは症例を交えながら血液ガスの評価方法、考え方を、酸塩基平衡に関してはノモグラムを使用してわかりやすくご講演をしていただき、看護師・米国呼吸療法士の南雲秀子先生からは呼吸を評価するためのポイントをより細かく、また病態によって異なるアセスメントポイントをご講演していただきました。臨床工学技士の山田紀昭先生からはトラブルシューティングに絡めてアラームの設定方法やトラブル発生時の

DOPE アプローチの紹介を、またグラフィック波形から読み取れる異常も含めてご講演をしていただきました。今回は事前にトラブルシューティングの資料を配布し、事前学習してきてもらうスタイルであり、ボリュームのある内容でした。リハビリテーション医学の佐野裕子先生からは COPD の病態から呼吸の評価方法などをガイドラインの内容を含めてご講演をしていただきました。経験されてきたことも盛り込まれた内容でしたので、受講者のみなさんも聞き入っていました。

また、アトムメディカル株式会社共催で臨床工学技士の山本信章先生より酸素療法で使用するデバイスについてランチョンセミナーが開催されました。新しいデバイスから普段使用することが多い鼻カニュラや簡易酸素マスクなどの各特徴や使用するポイントについてご講演をしていただきました。今一度知識を深める良い機会となったのではないのでしょうか。

本セミナーは各種団体から後援をいただいております。後援は、公益社団法人 日本臨床工学技士会、公益社団法人 東京都看護協会、公益社団法人 東京都理学療法士会、一般社団法人 東京都作業療法士会、東京都言語聴覚士会、チーム医療 CE 研究会東日本です。後援団体に所属されている方は参加費が後援団体料金でお申し込みできます。毎年開催を予定していますので、皆様の参加をお待ちしています。

呼吸専門部会のメンバーを紹介いたします。呼吸部会長：梶原吉春、委員：井上博満、石井宣大、岡本一彦、野口裕幸、佐々木雄一、相良文です。最後になりましたが、本セミナーが開催出来てきたのは、共催企業の皆様、事務局・当日スタッフの皆様・呼吸部会の皆様方のご協力があることです。これからもご協力をお願いいたします。

受付風景



共催企業展示



講演会場



スタッフ&呼吸部会メンバー

